

閉会中の調査報告

福祉教育常任委員会

日時 平成 29 年 4 月 12 日（水）午前 9 時 27 分～11 時 37 分
出席者 植中委員長、桑原田副委員長、山本委員、望月委員、立入委員、
松原議長
説明員 教育長、教育部長、教育部次長、生涯学習課長、生涯学習課係長

所管事務調査：ウツクシマツの現状とその保全・育成について

説明員より、平成 15 年から「ウツクシマツ自生地管理計画」を立て、被害は最小限に食い止めているが、最悪の状態に近づいている。対策については、土木建設課、商工観光労政課、農林保全課および生涯学習課が連携して進めている。また、三雲小学校の児童が種まきや苗木の育成にも取り組んでおり、今後も地道な活動を続けていく、との説明を受けました。

○主な質疑と意見（【質】＝質疑、【答】＝答弁）

【質】人が変わっても継続して取り組めるように、組織の設置が必要。

【答】平成 29 年度教育方針にも、ウツクシマツ保存をあげている。庁舎内関係課と専門家を入れた検討委員会を考えている。

【質】国の天然記念物としてアピールする大きな流れを明確にするべき。

【答】県も注目しており、検討委員会をつくる際には県とも連携していきたい。

○質疑の後、現地を視察。その後、意見交換をした。

【質】大がかりな組織の検討会を早急に立ち上げ、問題点を整理して工程表の作成を。

問題点 ①下草刈りの時期 ②雑木の伐採 ③薬剤の樹幹注入の是非 等

【答】まず、庁舎内関係課プロジェクトチームで検討した本市の取り組みを、県・国につながるような計画としてあげていく。伐採は、地元の了解を得てから実施する。

【質】保全・育成・PRと、息の長い取り組みなので、対応する組織が必要である。

【答】地元区、長寿会等、地元頼みだったが、市もサポートしていく。

【質】市民の認知が必要である。観光の点から考えれば、道路整備も必要である。

【答】甲西駅からウツクシマツまでの道路拡幅を進めている。

○自由討議

委員会より教育長に、5 月中に、「ウツクシマツの保護育成に向けたプロジェクトチーム」発足の要請を申し入れることとした

日 時 平成 29 年 5 月 12 日（金）午前 9 時 30 分～11 時 49 分
出席者 植中委員長、桑原田副委員長、山本委員、望月委員、立入委員
説明員 健康福祉部長、健康福祉部次長、保険年金課長、保険年金課課長補佐

所管事務調査：国民健康保険の広域化について

説明員より、平成 30 年度から県域化される国民健康保険について、現在の進行状況と、今後のスケジュール等について説明を受けた。

○主な質疑と意見

【質】 課題が多くある中、滋賀県は保険税を一元化する考え等、急ぎすぎではないか。担当課の考えは。

【答】 国は努力目標としている。保険税は性急に一元化するのはむずかしい。県は、検討の余地はあるとの認識だと思う。

【質】 市の実務は、どのようになるか。

【答】 窓口での給付等の業務は、現在と変わらない。財政面の安定はあると考えられる。

【質】 市町では、保健事業等で保険税を下げる努力をしているが、県単位では効果が出ないのではないか。努力が報われないのではないか。

【答】 保健事業での努力をどう評価するかは、今後の議論になる。

【質】 本市は、例えば心疾患が多いが、保健事業での効果は表れているか。

【答】 対策はしてきたが、国保会計への効果の検証はしていない。データヘルスの活用が充分でなく、平成 29 年度は見直しも必要と考えている。

【質】 標準保険税の設定は。

【答】 県への納付額に基づいて、料率を決める。

【質】 県域化のメリットは、財政の安定だけか。

【答】 高齢者が増えていくので、保険者の組織を大きくして支え合うのが目的で、県のどこに住んでいても、同じ保険税で医療を受けられるようとの考えである。市の特色を PR して、市民の健康意識をあげていきたい。

○自由討議

委員から、県に「充分検討し、慎重に進める」意見書をあげる提案があったが、まだ、検討途中で、具体的な方針が明確でないため、見送ることとした。